

Green Brave

#52 Green Brave GR Supra GT



Round.4

FUJI GT SPRINT RACE

2025 年 8 月 2 日 (土) ~ 3 日 (日) 富士スピードウェイ (静岡県小山町)

■ 週末を通して安定した戦いぶりを見せ土曜日 5 位、日曜日 6 位 ■

第 4 戦は土曜日の Race1 (35 週の混走) と日曜日の Race2 (50 分) という、スプリントのダブルヘッダー。全車サクセスウェイトなしのノーウェイト戦です。吉田選手が Race1、野中選手が Race2 に出場しました。土曜日の天候は晴れ。20 分間の Race1 予選は 11 時 40 分から行われ、吉田選手は残り約 9 分でコースイン。気温は朝より上がっており、クルマの感触を確かめながらペースを上げていきます。吉田選手は 4 周目に 1 分 37 秒 912 をマークするとアタックを継続。翌周に 1 回目のタイムを短縮する 1 分 37 秒 801 をマークするも、順位は 10 位。好感触を得ていた公式練習からクルマのバランスが変化し、納得できるアタックを行うことができませんでした。

35 週の Race1 決勝、吉田選手は順当なスタート。GT500 のクラッシュにより、すぐに SC (セーフティカー) が導入されますが、1 台抜き、9 位でホームストレートに戻ってきます。5 周目の終わりに SC がピットに戻り、6 周目からレース再開。#56GT-R を僅差で追いかける展開が続きます。13 周目、吉田選手が#56GT-R を抜き、8 位へ。さらに上位のクルマにペナルティが科されたため、7 位に上がります。18 周目からホームストレートに雨が落ち始めますが、大きな影響はなく、レースは進行。吉田選手はコンマ 5 秒ほどの差で#61BRZ を追いますが、なかなか抜くことができず、後半戦に突入します。28 周目、吉田選手が#61BRZ をパス。残り周回数はわずかですが、あきらめずに 5 位の#2GR86 を追いかけます。何度か並びかけるも抜けない展開が続き、このままチェッカーと思われましたが、最終週の 1 コーナーでインを奪取。5 位でチェッカーを受けました。

日曜日の天候は晴れ。前日同様、猛烈な暑さです。Race2 の予選では野中選手は残り 6 分を切ったタイミングでコースイン。3 周目に 1 分 37 秒 582 をマークし、3 位につけます。野中選手は続けてアタックを行い、1 分 37 秒 462 をマークするも、終盤にベストタイムをマークしたライバルが現れたため、最終結果は 7 位です。

50 分の決勝レース、野中選手は 8 位で 1 周目を終了。翌周、目の前の#5 トヨタ 86 が飛び出したため、順位を戻しますが、走り出しのペースが上がらず、劣勢を強いられます。3 周目、#666 ポルシェに抜かれ、8 位に後退。5 周目に上位のクルマがストップしたため、再び 7 位となり、#666 ポルシェを追いかけます。しかし 13 周目、コースに復帰した#5 トヨタ 86 に抜かれ、8 位に後退。#5 トヨタ 86 が 6 位に上がり、またも#666 ポルシェを追う展開となります。ペースの上ってきた野中選手は離されることなく追走。さらに、後方から#18 メルセデスが近づいており、3 台による 6 位争いとなります。20 周目の 13 コーナーで野中選手が#666 ポルシェをパス。#18 メルセデスもこれに続き、今度は#7 フェラーリを追います。野中選手は徐々に#7 フェラーリとの差を詰め、27 周目の最終コーナーでパス。6 位に順位を上げると、#18 メルセデスも加わり、激しいバトルになります。野中選手はポジションを守り、31 周目に 6 位チェッカー。貴重なポイントを獲得し、ランキングは 7 位に上昇しました。



決勝結果 (GT300 クラス)

#52 Green Brave GR Supra GT

Race1 決勝 吉田広樹選手

決勝：5 位 (33 周、59 分 10 秒 998)

予選：10 位 (1 分 37 秒 801)

Race2 決勝 野中誠太選手

決勝：6 位 (31 周、51 分 13 秒 084)

予選：7 位 (1 分 37 秒 462)

■■■ DRIVERS VOICE ■■■



Race1

吉田広樹 選手

予選後: 予選後: 朝も暑かったのですが、太陽が昇ってきただけで余計に暑くなりました。クルマのバランスが朝から変わってしまい、納得いくアタックができませんでした。コンディションに合わせきれなかったと思っています。ロングランもしっかりできていませんが、ブリヂストンを使うチームは前方のグリッドにいて、レース後半のペースも実績があるので、追い上げられるように頑張りたいと思っています。1時間ほどのレースなので、最後まであきらめずに攻めます。

決勝後: 全部のクルマをコース上で抜いたわけではなく、ペナルティで下がったクルマもあり、順位が上がりました。予選をもうちょっとしっかり走り切れれば違う展開になったと思いますので、予選のコンディションに合わせきれなかった自分たちの課題です。明日は野中選手が予選に出るので、活かされればと思っています。プッシュできる時間が長ければ長いほど、ブリヂストンタイヤの強みを活かせると思うので、スタート直後にセーフティカーが入ったのはもったいなかったと思いますが、5位まで追い上げることができ、良かったと思います。



Race2

野中誠太 選手

予選後: 昨日の課題に対して、今日いろいろとセッティングを変えて、アジャストする流れでした。フィーリングは悪くなく、高いレベルにいると思うのですが、僅差の争いの上に、公式練習からタイヤの種類が変わっていて、そのアジャストが足りてなかったと思います。ただ、細かい差なので、あまりネガティブにとらずに決勝に向けて準備したいと思います。あとはドライバーと細かいクルマのアジャストだと思います。GT500 がいないので、GT300 同士で集中して走れると思います。

決勝後: 前を追っかけないといけないし、後ろからも来るし、結構大変な展開でした。まわりのライバルたちもいつも以上にプッシュできるレースですし、守る必要があまりないレースなので、普段と雰囲気が違いましたね。スタートでは後ろの菅波選手の加速が良く、先行されてしまいました。その後のペースがいまいち上らず、後ろのポルシェに抜かれ、そこで一旦レースが落ち着いたので、タイヤをマネジメントしながらペースをコントロールしていました。後方からペースの良い選手が来たので、すごく難しかったです。

GT300 Race1 決勝結果

順位	車番	車名	周回数
1 位	777	D'station Vantage GT3	33 周
2 位	4	グッドスマイル初音ミク AMG	33 周
3 位	65	LEON PYRAMID AMG	33 周
4 位	7	CARGUY FERRARI 296 GT3	33 周
5 位	52	Green Brave GR Supra GT	33 周
6 位	2	HYPER WATER INGING GR86 GT	33 周
天候: 曇/雨 路面: ドライ トップ 6 まで (出走 28 台)			

GT300 Race2 決勝結果

順位	車番	車名	周回数
1 位	777	D'station Vantage GT3	31 周
2 位	2	HYPER WATER INGING GR86 GT	31 周
3 位	65	LEON PYRAMID AMG	31 周
4 位	5	マッハ車検 エアスター MC86 マッハ号	31 周
5 位	4	グッドスマイル初音ミク AMG	31 周
6 位	52	Green Brave GR Supra GT	31 周
天候: 曇 路面: ドライ トップ 6 まで (出走 28 台)			

GT300 チームランキング

順位	車番	チーム名	ポイント
1 位	65	K2 R&D LEON RACING	73
2 位	777	D'station Racing	65
3 位	4	GOODSMILE RACING & Team UKYO	63.5
4 位	2	HYPER WATER Racing INGING	60
5 位	56	KONDO RACING	48.5
6 位	18	TEAM UPGARAGE	40.5
7 位	52	埼玉 Green Brave	37.5
トップ 6 までトップ 6 + GB			

■■■■■ PARTNERS ■■■■■



Driving Mobile Media Innovation

アルパインマーケティング株式会社



株式会社アルシエ



株式会社 FM NACK5



小倉クラッチ株式会社



株式会社カーガラス・JP



株式会社カロツツエリアジャパン



埼玉スリーボンド株式会社



株式会社セーフティライフ



大和ラヂエーター工業株式会社



株式会社 TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY



ティーズ・ワークス



東京麒麟ビバレッジサービス株式会社



BP カストロール株式会社



株式会社プロモーション



マックメカニクスツールズ株式会社



丸和工業株式会社



Mechanix Wear LLC



株式会社 REIZ

第5戦 8月23日~24日
鈴鹿サーキット(三重県)